

## 5.3 科学研究費など外部資金

2021年度

a.研究課題

b.研究代表者

c.金額

(1) 日本学術振興会

(1.1) 新学術領域研究(研究領域提案型)

(1.1.1) 「重力波物理学・天文学: 創世記」公募研究

a. せいめい望遠鏡の可視光多色同時撮像カメラを使った重力波源電磁波対応天体探査

b. (代表) 松林和也

c. 令和2年度-3年度 (総額 3,950,000円) 令和3年度 150,000円

(1.1.2)

a. 多様な環境下における原始惑星系円盤進化の観測的解明

b. (代表)百瀬宗武、(分担)木野勝

c. 平成30年度から令和4年度 令和3年度31,070,000円 木野分担金200,000円

(1.2) 基盤研究

(1.2.1) 基盤研究 (A)

a. 超新星爆発直後の超早期分光観測と理論モデルで迫る、大質量星最期の10年間

b. (代表) 前田啓一、(分担) 松林和也

c. 令和3年度 4,060,000円 (松林分担金)

(1.2.2) 基盤研究 (A)

a. 恒星対流層から惑星間空間までを包括した太陽面爆発現象の理解と先進予測の実現

b. (代表)草野完也、(分担)横山央明

c. 令和3年度から7年度 総額5,720,000円 横山分担金 750,000円

(1.2.3) 基盤研究 (B)

a. 恒星コロナ進化の理論的研究

b. (代表)横山央明

c. 令和3年度から5年度 総額9,750,000円

(1.2.4) 基盤研究 (B)

a. オールトの雲へ: 小望遠鏡で拓く太陽系のさいはて

b. (代表) 渡部潤一、(分担) 有松亘

c. 令和3年度から7年度 総額9,490,000円 有松分担金 5,200,000円

(1.2.5) 基盤研究 (B)

a. 恒星スーパーフレア解明のための太陽フレアのThe-Sun-as-a-star研究

b. (代表)柴田一成、(分担)浅井歩

c. 令和3年度から5年度 総額4,550,000円 令和3年度 2,080,000円 (浅井分担金)

(1.2.6) 基盤研究(C)

- a. 惑星状星雲の多波長三次元分光データ解析による恒星風質量放出の解明
- b. (代表)大塚雅昭
- c. 平成31年-令和3年度 (総額 3,380,000円) 令和3年度 910,000円

(1.2.7) 基盤研究(C)

- a. 極限補償光学に対応した免震型分割鏡制御システムの開発
- b. (代表)木野勝
- c. 令和3年度から5年度 (総額 4,030,000円) 令和3年度 1,820,000円

(1.2.8) 基盤研究(C)

- a. 日本・ペルー・サウジアラビア高速太陽爆発監視システムの構築と宇宙天気研究への活用
- b. 上野悟
- c. 2020-2022年度 (総額3,300,000円) 2021年度 1,100,000円

(1.3) 若手研究

(1.3.1)

- a. 可視赤外測光・分光観測と現代統計的解析手法の開発による降着円盤不安定性の解明
- b. 磯貝桂介
- c. 令和2年度から4年度 (総額 3,900,000円) 令和3年度 800,000円

(1.4) 特別研究員奨励費 (DC)

- a. 太陽光球・彩層磁場観測と先進的な数値モデリングから迫る太陽フレアの発生機構の解明
- b. 山崎大輝
- c. 800,000円

(1.5) ひらめきときめきサイエンスようこそ大学の研究室へ KAKENHI

- a. 太陽活動のなぞを探る
- b. 浅井歩
- c. 500,000円

(1.6) 二国間交流事業共同研究

- a. 太陽彩層画像の日印統合データベースから探る太陽紫外線放射の長期変動
- b. (代表) 浅井歩
- c. 平成31年度から令和3年度 令和3年度 300,000円

(1.7) 外国人招へい研究者(長期)

- a. 京大せいめい望遠鏡を用いた惑星状星雲3-D分光観測による星周物質分布の総合的理解
- b. 大塚雅昭 (UETA Toshiya)

(1.8) 若手研究者海外挑戦プログラム

- a. 世界最高解像度データと数値モデリングから迫る小スケールジェットの発生機構
- b. 山崎大輝
- c. 1,400,000円

(1.9) 国際共同研究加速基金

- a. 超大型太陽望遠鏡DKISTで迫るプラズマ加熱の新たな物理的描像
- b. (代表)鳥海森、(分担)横山央明
- c. 令和2年度から5年度 総額18,720,000円、令和3年度 7,150,000円 横山分担金 1,500,000円

(2) 京都大学

(2.1) 生存圏研究所令和3年度生存圏ミッション研究

- a. 長期太陽黒点スケッチのデジタル画像データベースの構築
- b. (代表)浅井歩
- c. 360,000 円

(3) 国立天文台

(3.1) 研究集会経費

- a. 第12回 光赤外天文学大学間連携ワークショップ
- b. 山中雅之
- c. 400,000円

(4) 名古屋大学宇宙地球環境研究所

(4.1) 計算機利用共同研究

- a. 高時間分解能の非線形フォースフリー磁場計算によるMHD不安定性発達の研究
- b. 永田伸一

(5) 光・赤外線天文学大学間連携事業

- a. 大学間連携による光・赤外線天文学研究教育拠点のネットワーク構築事業
- b. 太田耕司
- c. 14,250,000円

(6) 文部科学省・宇宙航空科学技術推進委託費

「人文社会×宇宙」分野越境人材創造プログラム

- a. 有人宇宙活動のための研究教育プログラムの開発と実践
- b. (代表)嶺重慎
- c. 宇宙ユニット予算